

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月10日

協議会名:佐渡市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新潟交通佐渡(株)	<p>系統名:国仲・金丸線 運行区間:佐和田BS～佐渡病院～新町学校前～新穂小学校前～佐和田BS</p> <p>当該系統を運行する車両1台について車両減価償却費補助金を受けている。</p>	<p>H30に引き続き「病院乗り入れ便のご案内」についてチラシを作成し、市内全戸及び各病院等へ配布。</p> <p>学生ワイドフリー乗車券及び障がい者割引運賃制度(割引拡充)を継続。通学する学生のバス利用を取り込むため、新規高校生への制度案内を実施し、利用促進を図った。</p> <p>路線バス利用促進の一環として佐渡テレビデータ放送への時刻掲載を試験的に実施。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C <p>目標利用者数:20,000人 R1利用者数:19,460人(達成率:97.3%) H30利用者数:17,915人(達成率:89.6%)</p> <p>目標数には届かなかったものの前年を上回る利用者数となった。 佐渡総合病院での乗降者数は増加傾向にあり、「病院乗り入れ便のご案内」チラシの効果が高いものと考えられる。 通学の面では、学生ワイドフリー定期券の利用が伸びていることから学生の利用が増加したものと考えられる。</p>	<p>引き続き佐渡総合病院への通院需要の取り込みを図るため、「病院乗り入れ便のご案内」チラシの作成、配布を継続する。併せて路線バス割引サービス制度の周知を図り、相乗効果が得られるよう努める。</p> <p>学生ワイドフリー定期券及び障がい者割引運賃制度は、引き続き教育委員会や社会福祉課と連携を図りながら、周知、利用促進に努めたい。</p>
新潟交通佐渡(株)	<p>系統名:宿根木線① 運行区間:羽茂高校～小木港～宿根木～江積</p> <p>系統名:宿根木線② 運行区間:小木港～宿根木～江積</p>	<p>小木直江津航路海上時化等の際に、路線バスの接続について事業者間の連絡体制の確保によりスムーズな対応、接続が図れた。</p> <p>地域内交通の具体的整備に向けた検討を進めるため、地域の団体と協議を開始した。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C <p>目標利用者数:4,200人 R1利用者数:2,687人(達成率:64.0%) H30目標利用者数:6,200人 H30利用者数:5,779人(達成率:93.2%)</p> <p>小木港での乗降者数は増加した。航路利用の観光客等の利用が増えたものと考えられる。 一方、生活路線としての利用減少の影響が大きく、路線のあり方について協議が必要と考える。</p>	<p>利用者のニーズを把握し、地域に合った交通体系を構築するため、地域の団体等と地域内交通について検討を進める。</p>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年1月10日

協議会名：	佐渡市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金、車両減価償却費補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>鉄道の無い当市においては、学生や高齢者など運転免許を持たない交通弱者にとって通学や通院、買い物などの日常生活における主たる移動手段は路線バスであり、公共交通システムとしての路線バスの果たす役割は、本土の他地域に比べ非常に大きいものがある。</p> <p>国仲・金丸線は、地域間幹線の本線と佐和田バスステーションで接続する路線であり、主な利用者である学生や高齢者の通院等の移動手段として公共交通を確保するものであり、また、当該系統を運行する車両としてノンステップバスを新たに導入し、バリアフリー化を図っているものである。</p> <p>宿根木線においては、平成27年4月21日に就航した佐渡汽船新造船「あかね」の運行時刻に接続するようダイヤを見直すとともに、終点を沢崎からこれまで運行の無かった江積・白木集落まで延伸及び金田新田まで迂回したことで、交通空白域の解消を図っている。</p>